



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月12日

上場会社名 ICDAホールディングス株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 3184 URL http://www.icda.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)向井 弘光  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)黒田 悟郎 (TEL) (059) 381-5540  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日~平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	16,698	△3.0	395	40.8	367	39.2	230	48.3
27年3月期第3四半期	17,211	△6.1	280	△54.6	263	△53.9	155	△49.1

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 235百万円(34.7%) 27年3月期第3四半期 174百万円(△45.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	109.80	—
27年3月期第3四半期	74.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	14,410	4,175	28.1
27年3月期	15,263	4,050	25.7

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 4,053百万円 27年3月期 3,926百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,277	△1.0	823	45.3	760	42.2	496	72.2	236.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年3月期3Q	2,100,000株	27年3月期	2,100,000株
28年3月期3Q	64株	27年3月期	64株
28年3月期3Q	2,099,936株	27年3月期3Q	2,099,969株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済施策・金融政策の効果等により、企業収益の改善等が進み景気は緩やかに回復しつつあります。しかしながら個人消費を取り巻く環境は、物価上昇に伴う実質所得の低下による節約志向は根強く、また、海外経済の下振れ等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

自動車販売業界においては、エコカー減税の見直しと軽自動車の増税等により、販売台数の落ち込みなど、厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、「顧客との対話」の原点に立ち返り、アウトバウンド型(発信型)の自社コールセンターを開設いたしました。また、中古車販売においては、市場特性等の情報収集を徹底し、地域競合店との優位性を高めました。この結果、売上高は166億98百万円(前年同期比3.0%減)、営業利益は3億95百万円(前年同期比40.8%増)、経常利益は3億67百万円(前年同期比39.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億30百万円(前年同期比48.3%増)となりました。

セグメント毎の状況は以下の通りであります。

## ① 自動車販売関連事業

当セグメントにおきましては、新車販売では、エコカー減税の見直しや軽自動車の増税により、販売台数が減少いたしました。これにより、新車販売台数は前年同期比16.8%減の3,236台となりました。中古車販売においては、地域競合店との優位性を高めることで、中古車販売台数は前年同期比3.3%増の6,654台となりました。これらの結果、売上高は162億56百万円(前年同期比2.8%減)、セグメント利益(営業利益)は5億35百万円(前年同期比28.8%増)となりました。

## ② 自動車リサイクル事業

当セグメントにおきましては、使用済自動車のオークション市場からの仕入割合が高く、仕入コストが増加いたしました。使用済自動車の入庫が前年同期比1.9%減の4,721台となり、生産台数(再資源化处理)は前年同期比13.9%減の4,929台となりました。また、鉄・アルミ等の素材価格の相場の落ち込みにより、資源売上が減少いたしました。これらの結果、売上高は4億41百万円(前年同期比7.8%減)、セグメント利益(営業利益)は37百万円(前年同期比48.3%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より8億53百万円減少し、144億10百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少10億5百万円、建物及び構築物の減少1億72百万円、商品及び製品の増加2億10百万円、土地の増加1億91百万円等によるものであります。

## (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末より9億78百万円減少し、102億35百万円となりました。これは主に、買掛金の減少5億51百万円、未払法人税等の減少1億31百万円、借入金の減少1億38百万円等によるものであります。

## (純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より1億24百万円増加し、41億75百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上2億30百万円、配当金の支払1億4百万円による利益剰余金の増加等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、概ね計画通り推移していることから、平成27年5月15日公表の連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 企業結合に関する会計基準等の適用

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,507,198	501,969
受取手形及び売掛金	315,432	281,547
商品及び製品	2,412,081	2,622,611
仕掛品	2,329	7,640
原材料及び貯蔵品	34,196	26,087
その他	258,329	213,918
貸倒引当金	△1,043	△954
流動資産合計	4,528,525	3,652,820
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,286,356	3,114,031
土地	5,600,329	5,791,627
その他(純額)	966,825	954,815
有形固定資産合計	9,853,511	9,860,474
無形固定資産	67,543	64,446
投資その他の資産	814,412	832,931
固定資産合計	10,735,467	10,757,852
資産合計	15,263,992	14,410,672

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,999,196	1,447,973
短期借入金	4,125,332	4,633,892
未払法人税等	167,414	36,093
賞与引当金	146,937	74,600
その他	1,156,006	1,031,843
流動負債合計	7,594,887	7,224,403
固定負債		
長期借入金	2,780,366	2,132,869
役員退職慰労引当金	258,448	268,904
退職給付に係る負債	527,255	553,509
その他	52,279	55,468
固定負債合計	3,618,349	3,010,750
負債合計	11,213,237	10,235,154
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,161,078	1,161,078
資本剰余金	1,148,992	1,148,992
利益剰余金	1,572,796	1,698,370
自己株式	△107	△107
株主資本合計	3,882,759	4,008,333
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,218	40,277
退職給付に係る調整累計額	5,152	4,770
その他の包括利益累計額合計	43,371	45,048
非支配株主持分	124,624	122,136
純資産合計	4,050,755	4,175,518
負債純資産合計	15,263,992	14,410,672

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	17,211,619	16,698,275
売上原価	14,074,546	13,579,356
売上総利益	3,137,072	3,118,919
販売費及び一般管理費	2,856,483	2,723,919
営業利益	280,589	395,000
営業外収益		
受取賃貸料	9,000	9,500
受取保険金	6,379	12,979
その他	47,056	15,030
営業外収益合計	62,435	37,510
営業外費用		
支払利息	55,247	48,116
支払手数料	15,306	13,234
その他	8,897	4,139
営業外費用合計	79,451	65,491
経常利益	263,574	367,018
特別利益		
持分変動利益	5,400	—
特別利益合計	5,400	—
税金等調整前四半期純利益	268,974	367,018
法人税、住民税及び事業税	56,301	99,966
法人税等調整額	47,716	33,297
法人税等合計	104,017	133,263
四半期純利益	164,956	233,755
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,459	3,184
親会社株主に帰属する四半期純利益	155,497	230,570



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	164,956	233,755
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,776	2,059
退職給付に係る調整額	57	△364
その他の包括利益合計	9,833	1,694
四半期包括利益	174,790	235,449
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	165,422	232,248
非支配株主に係る四半期包括利益	9,367	3,201

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 2
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,732,594	479,025	17,211,619	—	17,211,619
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20,558	19,245	39,803	△39,803	—
計	16,753,152	498,270	17,251,423	△39,803	17,211,619
セグメント利益	415,637	71,750	487,387	△206,798	280,589

(注) 1. セグメント利益の調整額△206,798千円には、セグメント間取引消去2,244千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△209,042千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 2
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,256,470	441,805	16,698,275	—	16,698,275
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,047	21,331	42,378	△42,378	—
計	16,277,517	463,137	16,740,654	△42,378	16,698,275
セグメント利益	535,526	37,064	572,590	△177,590	395,000

(注) 1. セグメント利益の調整額△177,590千円には、セグメント間取引消去139千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△177,729千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。